

液晶表示されるエラーコードの読み方について(資料/LS-3300)

白山工業株式会社 データマーク事業部
1999.08.12

Bit0	A/D周辺エラー	指定時間内に、2つのA/DのRDY信号が有効にならなかった。A/Dのキャブレートが指定時間内に終了しなかった			
Bit1	システム再スタート	プログラムが再スタート、プログラム起動時、設定待ち以外の状態にあった時にセットされる			
Bit2	バッテリーロー	電源電圧が規定値を下回った時にセットされる			
Bit3	RTCエラー	時計ICのデータが正しくないときにセットされる			
Bit4	CPU暴走	CPU例外処理が発生するなど暴走したときにセットされる			
Bit5	システムエラー	プログラム起動時にメモリ内容が正しくなかった時にセットされる			
Bit6	Badブロック発生	フラッシュメモリにBadブロックが発生した			
Bit7	フラッシュメモリにアクセスできない	バッテリーローのためフラッシュメモリにアクセスできない時にセットされる			
Bit8	エラーフラグの異常				
Bit9	IDNo. Boud Rateの不良				
Bit10	フラッシュメモリのチェックコードの不良				
Bit11	時計ICの不良				
Bit12	フラッシュメモリ異常	フラッシュメモリに記録した動作状態不良			
Bit13	フラッシュメモリ異常	フラッシュメモリのヘッダ内容不良			
Bit14	フラッシュメモリ異常	フラッシュメモリのリードエラー			
Bit15	フラッシュメモリ異常	フラッシュメモリのBadブロックエラーオーバー			

エラー表示4文字の右端から 1桁目(Bit0～Bit3)、2桁目(Bit4～Bit7)、3桁目(Bit8～Bit11)、4桁目(Bit12～Bit15)を表します
4ビットの2進数と16進数の対応は次の表の様になります。

それぞれの桁でビットが立っているところがエラーの内容となります。

2進数	16進数	2進数	16進数
0	0000	8	1000
1	0001	9	1001
2	0010	A	1010
3	0011	B	1011
4	0100	C	1100
5	0101	D	1101
6	0110	E	1110
7	0111	F	1111

例えば 0004 であれば 1桁目の数字が4なので 16進表示では 0100 となります。これはBit2が立っていることとなりますので
エラー内容は「バッテリーロー」となります。